

2013年9月28日(土)

鼻曲山(1654m)

レポート by 熊本

クマさん会で初めての山「鼻曲山(1654m)」です。長野県と群馬県の境にあり、両県の分水嶺をなし、軽井沢の真北に位置しています。参加者は布目さん、山川さん、岡部さん、高橋雄さんと熊本の5名でした。

今回は長野県(軽井沢)から入り、群馬県(霧積温泉)に下山するコースです。

Next Departure		今度の電車	
列車名 Train	番号 Train No.	時刻 Time	行先 Destination
Max たにがわ	401号	6:36	越後湯沢
停車駅 上野・大宮・熊谷・本庄早稲田・高崎・上毛			
あさま	503号	6:52	長野
停車駅 上田・長野			
とき	305号	7:08	新潟
【ご案内】 はやぶさ号・はやて号・			

東京駅発6:52の「あさま503号」に山川さん、熊本が乗車、上野からも布目さん、大宮から乗る岡部さん、高橋雄さんの席を確保して出発した。



軽井沢に8:11に到着。  
小瀬温泉までバスの予定だったが、5人で効率が良かったため、登山口まで、タクシーを利用することにした。  
後部座席に4人で少々窮屈だが我慢。  
乙女コース登山口の長日向まで行く。



8:30に長日向登山口に到着。  
手書きの標識のみ。





岡部さんのリードで、ストレッチ体操で登山準備する。



車止めを超えて林道を進み歩行開始する。(8:46)



暫くは平坦な砂利の林道が続く。





5, 6 分歩くと、鼻曲山への標識があり、120 分とあった。

歩き始めると、次から次とキノコが現れる。どうやら鼻曲山はキノコの山らしい。



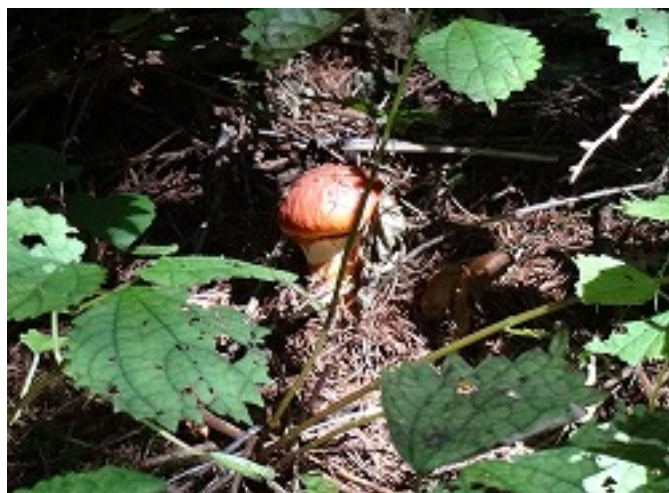
真白く小さいキノコ



ハナイグチ

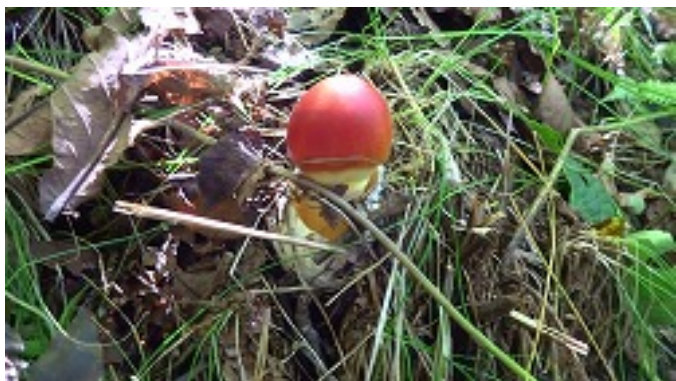


ハナイグチは登り口から中腹までの登山道に切れることなく群生していた。



マツタケ似？が顔を出したところ





歩き始めて約 30 分で分岐に到着。  
ここで最初の休憩を取る。  
布目さんから梨、山川さんからカステラを頂き美味しかった。





霧積温泉・鼻曲山への標識の前で記念写真を撮る。



林道から本格的な狭い登山道に入る。  
ここから鼻曲山まで80分とあり、  
1/3登ったことになる。

鼻曲山の初秋に出会った花は以下の通り











登り始めて1時間以上過ぎたが、誰にも出会わず静かな山登りである。このコースは余り登山者がいないのか、登山道に蜘蛛の巣が張っているところがあり、雄さんは先頭で、ストックで露払い役だ。



徐々に急登になってき始めた。



最後の急登のようだ。





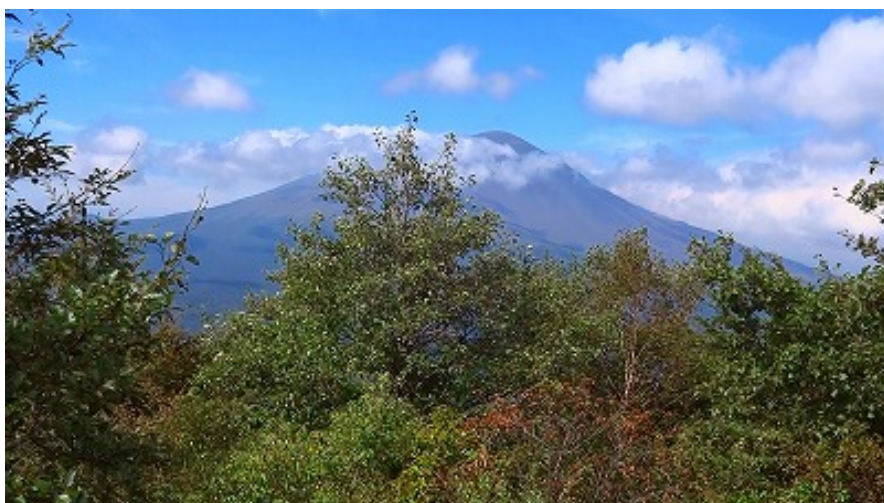
急登が 20 分程続き、息が切れ一息入れる。



樹林帯が開け、八ヶ岳や南アルプスの展望の場所に出た。  
そろそろ山頂に近いのだろう。  
山頂に近づくと、トリカブト、リンドウ、ミネウスユキソウ等が群生している。(10 : 20)







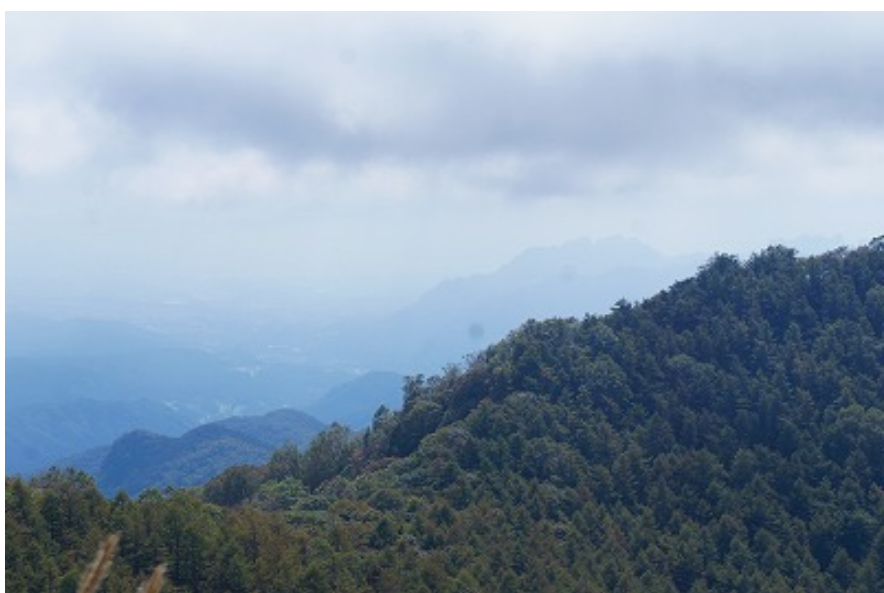
最初のピーク「鼻曲山小天狗」に到着。(10 : 35)

浅間山が直ぐ目の前であった。





八ヶ岳が雲海の上に顔を出していた。



妙義山



小天狗の山頂で浅間山をバックに撮ったのだが・・・  
浅間山は雲に隠れてしまった。





浅間山を眺めて、次のピーク「大天狗」に向かう。



小天狗から5分で大天狗に到着した。



本日の最高点「鼻曲山大天狗」(1654 m) に立った。(10:45)





大天狗の山頂は、木が茂り展望も今一で 11 時前でもあり、昼食には早すぎのため下山し初め、適当なところで昼食を取ることにした。  
登りコース（長野県側）は緩やかな登りが続いたが、下山路（群馬県側）は急峻な下りが長い間続く。



ロープが張られた急下りは滑りやすく、ロープを頼りに降りた。

下山登山道で出会った珍しいキノコ



ホコリタケ：外側は薄く袋になっていて、叩くと中から胞子が埃のように吹き出す。



笠の直径が 15 センチほどもある大きなキノコ





下山に入って約 1 時間細い登山道の連続で、5 人が座って昼食を取る場所はなく、やっと草原を見つけ、12:20 遅い昼食を取る。



昼食場所から緩やかな登山道を 15 分ほど下ると林道にでる。



林道を右手方向 300m に霧積温泉「金湯館」はあった。(13 時着で、予定より 1 時間早く着いた)

霧積館は廃館となり、金湯館一軒となってしまった。創業明示 7 年と歴史は古く、正に秘湯中の秘湯である。

<http://www32.ocn.ne.jp/~kirizumikintokan/gaiyo-onsen.html>





無色透明のカルシウム硫酸塩でとろりツルツルの温泉で、40 度と低めだが源泉掛け流しでユックリ長時間入っている。



湯上りに金湯館の外のテーブルで、一杯やり、14:40 に頼んだタクシーを待つ。

タクシーで横川駅まで 35 分。



15:46 発の高崎行まで 30 分あり、ここでも待ち時間に一杯が始まる。





横川駅から乗車する人は非常にすくなく、車内がガラガラ。



横川駅から眺めた裏妙義山。



高崎から快速アーバンで運よく座れ、帰路に着きました。

岡部さん、高橋雄さんは大宮で下車。

布目さん、山川さん、熊本は終点上野まで。

皆さん、お疲れ様でした。

初めての鼻曲山は多種類のキノコの山で、山頂付近はリンドウ、トリカブト、ミネウスユキソウの群生で、山頂（小天狗）からは、浅間山、八ヶ岳、南アルプス、妙義山等の展望が良く、最後の秘湯・霧積温泉（金湯館）は良かった。